

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-2-3		事業名	芸術の森園路等バリアフリー化事業			
担当	観光文化局文化部市民文化課 筒井 電話211-2261						
全体計画							
事業内容	札幌芸術の森の各施設を繋ぐ園路には、未だバリアフリー化されていない箇所があり、特に各施設を結ぶ導線は石置が多く、段差や凹凸があるため、園路舗装を見直し、移動を円滑に行えるようにする。 また自然を活かしたロケーションから、施設間の高低差があるにも関わらず、階段には手すり等の設備がないため、危険な状態であることから、階段等に手すりを設置するとともに、階段の材質・形状を見直し、バリアフリーな施設に改修する。 野外美術館については、オープンから20年が経過し、各作品を繋ぐ導線園路の傷みが激しく、段差や凹凸が多くなっている。特に雨天時には剥き出しの土の歩道である部分が泥濘化することから、導線を水はけのよい舗装や、周囲の環境に調和したウッドチップなどで整備するとともに、車椅子やベビーカーでも奥地まで回れるよう、園路の再整備を行う。 各施設間導線園路の改修 つづら折階段の手すり設置及び階段の改修 野外美術館内園路の再整備			<年度別の事業内容>			
				平成20年度実施 - 同年度完成			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	(内容)			予算化されなかったため、実施予定なし。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
バリアフリー化工事		-	-	未実施	未定	未定	実施 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	3-2-3		事業名	芸術の森園路等バリアフリー化事業			
評価(成果)			課題				
			芸術の森は傾斜が大きく、バリアフリー化するにあたっては、物理的な課題があり、低地部と高地部を結ぶためには、相当の延長が必要になる。特に野外美術館については、バリアフリー化するためには大幅なレイアウトの変更が必要になる。				
			今後の事業の予定・方向 バリアフリー化に向けた検討等を行い、芸術の森施設改修計画に合わせて実施を図る。				
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	19,000	0	0	19,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市債	0	17,000	0	0	17,000
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	2,000	0	0	2,000		
予算	事業費	0	0	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0	0		0	
		市債	0	0		0	
		その他	0	0		0	
一般財源	0	0		0	0		
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0			0	
		市債	0			0	
		その他	0			0	
一般財源	0			0	0		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				0.0%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] 地形的特徴による検討課題があるため、実施予定なし。							